



令和7年度 沼津市立大平小学校 グランドデザイン

《小中一貫教育目標》

志をもって 自分をみがき ともに挑戦する たくましい大平の子

＜「志」とは、自分の夢実現・目標達成とともに、他者意識をもって、他者のために生きること＞

《学校経営目標》

「一人一人笑顔」

一人一人が笑顔で自分の人生を歩んでいけるよう、全教職員で全児童に対し、寄り添い、伴走する学校づくり

＜「一人一人」の対象は、子供、教職員、保護者、地域、外部機関、他校・・・＞

＜「笑顔」に込めたのは、ウェルビーイング＞

《小中共通道徳教育重点内容項目》

- 「個性の伸長」
- 「希望と勇気、努力と強い意志」
- 「相互理解、寛容」

知

自ら学ぶ子を育てる

【1-1(1)】

徳

多様性を理解し尊重し合える子を育てる

【1-2(3)】

体

粘り強く心身を鍛える子を育てる

【1-3(1)】

【重点1】授業改善

「失敗しないように教える」授業から「つまずきを与え伴走する」授業に

- 一人一人の主体性を大切に、特別支援教育の発想で、「この子ならどうやればのりこえられるか」「その子のできること、その子のよさ」を伸ばす
- 「子供が課題を見つけ、子供が解決方法を模索する」授業（「学びの個性化」）
- 普段から「子供のよさ」を把握する

【重点2】GIGA スクール構想

- 「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実の手立てとして
- 学びの保障として（不登校等）
- 学校での学びと社会との架け橋として

【重点3】道徳教育（人権教育）

- 正解のない発問等で議論し、級友の考えが自分の考えを、自分の考えが級友の考えを、広げたり、深めたりすることを実感し、共に学ぶよさや楽しさを感じさせたい
- 道徳教育推進教師を中心に、道徳の時間を要として学校教育全体で道徳教育を推進する

【重点4】特別支援教育

- 通常学級、特別支援学級にかかわらず、どの子も一人一人が、個に応じた特別な支援を必要としている
- 特別支援教育コーディネーターを中心に、チームによる個別支援を行う
- インクルーシブ教育システムの考え方、「共生・共育」を目指す

【重点5】地域・外部機関との連携・協働

- 多くの指導者（伴走者）による子供のチャレンジ支援
- 共に子供を育てる、双方に充実感
- 学校での学びを社会とつなげる
- CSディレクター・コーディネーターとの情報共有（地域の願いを知り、貢献するという視点ももつ）

【重点6】「全教職員で全児童に対する」ために

- 学年団（低学年部、高学年部）による運営体制づくり
- 支援チーム（A、B）による協働体制づくり
- 教科担任制の拡大
- カリキュラム・マネジメント会議

一人一人に思いを巡らす

自分も相手も大切に

「みんなちがって みんないい」

>>> 大平小の教育資源 <<<

- 豊かな自然・歴史・文化、農業地域、子供や高齢者を大切にする風土、拡大家族と核家族、協力的な地域、基礎的知識技能習得への関心
- コミュニティ・スクール（R5より）
- 幼保小中一貫教育
- 単学級（少人数）
- 特別支援学級設置校
- LGBTQ

>>> 大平の子供像 <<<

～ 長所・短所 ～

- 素直、純朴、まじめ
- 献身的
- 相互理解
- 学年を超えた連帯感
- △自己肯定感、主体性
- △規範意識
- △粘り強さ
- △基礎学力

>>> チーム大平 <<<

- 教職員、専門機関、保護者、地域、場合によっては子供もチームに、一人一人の力・知恵を総動員して対応（一人で抱え込まない、一人に抱え込ませない、みんなで悩む）
- 子供も教職員も「個別最適な学び」「協働的な学び」を通して成長し続ける
- ワーク・ライフ・バランス意識改革「自分の人生を豊かに生きることが、よい教育につながる」取組の重点化
- 不祥事根絶
- 貴き使命感、温かく支え合う同僚性を培う

「生きる力」の育成

- 「知識及び技能」
- 「思考力、判断力、表現力等」
- 「学びに向かう力、人間性等」

「有徳の人」の育成

～誰一人取り残さない教育の実現～



「誇り高い沼津を創造する

貴き志を持つ人づくり」



人間力を磨く教育
地域総がかりで取り組む教育